

平成 25 年度事業計画

〈はじめに〉

日本野鳥の会は 1934 年、初代会長の中西悟堂が創立して明年（平成 26 年）、創立 80 周年という記念すべき日を迎える。

野鳥といえば「食べる」「捕獲して飼育する」ことが当たり前だった時代から、当会は一貫して「野の鳥は野に」と、あるべき自然の姿を追求し、様々な保護活動や調査活動等を重ねながら、今日、「国内最大規模の環境 NGO」と評されるまでに成長することができた。

一方、野鳥や自然環境を取り巻く環境は大きく変貌しつつある。

とりわけ、2011 年 3 月に発生した東日本大震災や、福島第一原発事故を契機とした再生可能エネルギー探求への大きな流れの中で、当会は、風力発電問題や地熱発電問題をはじめとした新たな課題にも直面する事態となっている。

ところで、公益財団法人としての当会は、国や地方自治体からの助成金に依拠せず、その運営財源の多くが、会費や寄付金、受託収入や販売出版事業からの収益金が占め、預金の多くも使用目的を限定した特定預金が大半なうえ、運営安定財源は僅少な額にとどまるなど、その運営基盤はきわめて脆弱であるといわざるを得ない。

このためにも、財政基盤の安定に向けて、事業の全般的見直し等を引続き行うとともに、収入財源の確保や、会員・支援者（寄付者）・支援企業の拡大等に積極的に取り組んでいく。とりわけ、「企業が果たすべき社会貢献」への注目や関心が高まる中で、環境保護活動に関心を持つ企業を増やし、当会の支援者とすべく、企業等への日常的なアプローチ等も果敢に取り組んでいくこととする。

最後に、2011 年に始まった「国連生物多様性の 10 年」が 3 年目となる今年度、当会は、引続き、野鳥保護・自然環境保護に向けた公益活動等に積極的に取り組んでいくとともに、その成果等を分かりやすく発信し、野鳥を中心とした生物多様性保全に向けて、全国 90 の連携団体（支部等）などと連携・協力しながら、必要な取組みを展開していくこととする。

〈各事業の概要〉

I 自然保護事業

当会の活動の中心をなす自然保護事業では、絶滅のおそれのある希少な野鳥種の保護を図るとともに、政策提言や具体的な保全活動等の事業を展開する。

1 絶滅のおそれのある種の保護

絶滅のおそれのある種の保護については、緊急に保護を必要とする種として、

- ・タンチョウ(湿原)、
- ・シマフクロウ(森林)、
- ・カンムリウミスズメ(海洋)、

をそれぞれ取上げ、各種の保護事業を展開する。

また、チュウヒやクロツラヘラサギの情報収集や、マナヅル・ナベヅルの越冬地分散事業を継続するとともに、アカコッコの保護活動などを展開する。

(1) タンチョウの保護

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリを拠点として、以下の活動を行う。

- 1) タンチョウが冬期も自然の餌がとれるよう、自然採食地を新たに2か所造成する。
また、これまでに造成した自然採食地の適切な維持管理を行い、併せて今後の取組みに資するよう、これまでの自然採食地の造成・維持管理方法などをまとめ、資料化を図る。
- 2) タンチョウの繁殖する湿原を、買取り等により、当会独自の野鳥保護区(以下「野鳥保護区」という。)として保全する。
具体的には、土地購入等により、野鳥保護区の新設を進めるとともに、既設の野鳥保護区にあっては、より良い生息環境にするための環境整備を行うほか、モニタリング調査や巡回監視を継続する。
- 3) 越冬期のタンチョウの餌不足を補うため、11月から3月までの期間、毎日、飼料用のトウモロコシ計約8トンの給餌を行う。
- 4) 地域や全国のボランティアの協力を得て、自然採食地の造成や調査を実施する。

(2) シマフクロウの保護

野鳥保護区事業所を拠点に、以下の活動を行う。

- 1) シマフクロウが生息する森林を、買取り等によって野鳥保護区として保全する。
具体的には、土地購入等により、野鳥保護区の新設を進めるとともに、既設の野鳥保護区においては、より良い生息環境とするため、巡回監視や森林の整備を行うほか、モニタリング調査を継続する。
- 2) 既設の野鳥保護区内の森林において、シマフクロウの生息に適した環境整備の手法を確立するための試験施業を行う。
また、地域や全国のボランティアの協力も得て、除間伐や植樹を実施する。
- 3) 既設の野鳥保護区等において、人工の生簀等を設置し、給餌活動を進めるとともに、その利用状況の調査等を行う。
また、繁殖環境の整備に関する必要な検討を始める。

(3) カンムリウミスズメの保護

三宅島に配属中の三宅島グループを中心に、以下の取組みを展開する。

- 1) 調査活動
 - ① 伊豆諸島の繁殖地において、繁殖状況に関する調査を実施し、繁殖条件を明らかにするための情報を蓄積する。
 - ② 人工巣設置後3年間の実験結果の評価を行い、人工巣の改良や設置場所の移動等、必要な対策を図る。
 - ③ 国等への働きかけを行うため、①で得られた情報を基に、天敵対策など保護増殖に向けた対策の検討及び、重要な生息地に関する資料整備を行う。
 - ④ 各生息地において研究者や関連団体から聞き取りを行うとともに、非繁殖期での目撃情報提供等と呼びかけ、生態に関する情報収集に努める。
さらに、非繁殖期における生息地情報の把握等、引続き必要な取組みを行う。
- 2) 普及活動
 - ① 伊豆諸島を中心に、自治体や地元住民、漁協など関連団体が本種の保護の重要性等を理解し、積極的に保護活動へ参画いただけるよう、コンサートや観察ツ

アーなど、啓発・参加プログラムを提示していく。

- ② 本種の保護の重要性を訴え、また、本種の認知度を全国的に向上させるため、当会が発行・制作する既存媒体やテレビ媒体の活用など、必要な取組みを行う。

3) 保護活動

カンムリウミスズメの調査活動等の実績を踏まえ、状況に応じて、海洋保護区指定等の保護対策を行政等に働きかける。

(4) その他の種の保護の取り組み

1) マナヅル・ナベヅルの越冬地分散

鹿児島県出水市に集中している絶滅危惧種のナベヅル、マナヅルについては、2010年の鳥インフルエンザ発生等により、その越冬地分散がより急務な課題となっている。

このため、多数の越冬個体が集中する鹿児島県出水における、その分散を促すための方策検討とともに、佐賀県伊万里市での越冬地分散モデル事業を継続し、安定した越冬地化を図る。

また、ナベヅル等の誘致活動に積極的な、新たな越冬地分散候補地での取組みを支援する。

さらに、出水市や環境省等との協働で、新たな分散計画の立案に取り組む。

2) アカコッコの保護

アカコッコの行動圏や生息数などの基礎データを収集する。また、アカコッコ増殖のための森づくりモデルを確立させるため、平成24年度に実施した試験施業の効果測定を行い、その結果に基づいて施業方法を改善するとともに、その調査結果の広報を行う。

3) クロツラヘラサギの保護

クロツラヘラサギの世界一斉センサスへ協力するとともに、各地で行われている越冬地保全活動を支援する。

4) ベニアジサシの保護

絶滅危惧種ベニアジサシの北限の繁殖地において、洋上調査により採餌範囲を明らかにするとともに、繁殖地の保全に向けた具体策を検討し、関係機関への提言等を行なう。

5) チュウヒの保護

連携団体(支部等)が取組んでいるチュウヒの保護活動を支援し、これまで当会で行った調査結果を普及する。

6) 生息数が急減している種の保護

シマアオジなど、生息数や生息地が急減している種を中心に、必要な調査活動等を行う。

2 法制度等による種や生息環境の保全

法制度等による種や生息環境の保全対策として、重要野鳥生息地(IBA, Important Bird Area)保全対策の推進や、風力発電対策、野鳥密猟対策等の活動を行う。

(1) IBA 保全対策の推進

国内の重要な野鳥生息地保全のため、国際版レッドデータブック種や固有種の生

息地、大規模な生息地など、保全上重要度が高く、国際基準も満たす重要野鳥生息地(IBA)について、IBAの保全レベルの向上にむけて、各種の取組みを行う。

特に、海鳥を指標として、保全上、重要度の高い海域として 2012 年度に選定したマリーン IBA については、

- ・法的保護指定の状況、
 - ・地元の保全活動団体や漁業者の取組み、
 - ・環境への脅威や問題点、
- 等の情報を収集・整理し、海洋保全のための基礎資料化を図る。

1) 具体的取組

- ① 新規サイトの追加登録。
 - ② 予定される法制度の改正や、各種保全戦略への働きかけにおける法的保全措置の拡充の働きかけ。
 - ③ 個々の IBA における保全上の危機に対する対応と地域支援。
 - ④ マリーン IBA における法的保護指定状況や地元での取組み、課題等の情報収集及び海洋保全のための基礎資料作成。
- 等を図る。

(2) 風力発電対策の取組み

風力発電施設の建設による野鳥への悪影響を回避し、最小化するための取組みを行い、これらの活動で得られた成果等について、適宜、機関誌や学会等を通じて発表していく。

併せて、その他の自然エネルギーと、野鳥とのコンフリクトを解消するための取組みを行う。

1) 洋上風力発電施設対策

今後、導入が進むと考えられる洋上風力発電による鳥類への影響については、実際に洋上風力発電施設の計画もしくはポテンシャル海域において調査を行い、洋上風力が海鳥に与える影響を見る上での指標 (SSI=種感受性指標、WSI=ウィンドファーム感受性指標) の作成し、法アセスの配慮諸段階で活用できるよう、情報整備を行う。

また、国内では未だ実施されたことがない、航空機による海鳥調査手法を確立するための調査を行う。

2) 陸上(山間地)での風力発電施設対策

陸上の山間地に風力発電施設を建設する際、その建設地と生息地が重なることが多いクマタカについて、これまでの建設に伴って、クマタカの繁殖状況に変化がなかったか等、問題点を把握するためのアンケート調査を行う。

(3) 野鳥密猟対策の取組み

野鳥の種の生存を脅かす密猟や違法飼育を根絶し、輸入をなくすため、全国野鳥密猟対策連絡会や各地の連携団体(支部等)等と連携しながら、全国的に活動支援を行う。

(4) 身近な野鳥の調査・保護事業

ツバメやスズメ、ヒバリなど、身近な環境を生息域としている鳥類は、人間のライフスタイルの変化に伴って、その影響を強く受ける種といえる。

一方、身近な存在ゆえに、これらの鳥については、生息数などの調査もほとんど行われていないなど、その動向や生態は未詳な部分が多い。

このため、これら身近な鳥類を対象とした調査を市民参加の形で広く呼びかけて行い、その結果を種の保護や都市の生物多様性の保全に結びつけていく事業を行う。今年度は、昨年度、キャンペーンを行ったツバメを対象とした事業を継続実施し、ツバメの生息状況を明らかにしていく取組みを行う。

3 その他の自然保護活動

(1) 野鳥生息情報の収集と発信

自然保護活動の基礎的な情報として、次のように野鳥生息情報の収集に取り組むとともに、その成果を積極的に発信していく。

- 1) 全国の連携団体(支部等)と協働での野鳥情報ネットワーク事業の推進。
- 2) 野鳥情報収集のため、一般参加による「見つけて渡り鳥」サイトの運営。
- 3) 「森林・草原のモニタリングサイト1000」の取組み。

(2) 鳥インフルエンザ感染への対応

(3) 調査研究報告書 Strix の発行

(4) 原発事故による鳥類への放射性物質の影響モニタリング

福島第一原子力発電所での事故に伴う放射性物質の鳥類への影響について、
・福島、宮城等でのツバメを指標とした詳細な調査、
・水鳥や留鳥への蓄積の有無について、有害鳥獣として駆除された鳥やへい死した鳥などを試料とした分析、
等の取組みを行い、その結果を公表する。

(5) ラムサール関連ネットワーク参加と保全活動の推進

ラムサール登録を機に設立されたネットワーク等に参加し、その活動への協力を通じ、登録地の自然環境保全の推進に資するとともに、成果の広報に努める。

II 普及事業

1 野鳥に対する正しい知識普及に向けたイベント活動等

野鳥に関する正しい科学的知識や、適切な保護方法等を広く知っていただくことを目的に、全国の連携団体(支部等)が行う探鳥会の運営支援や、教材の作成・配布、各種イベントの企画等を行う。

(1) 創立80周年記念に向けた諸企画の準備

- 1) 当会の創立80周年を記念し、「未来に残したい鳥風景」というテーマで、公募型の写真展を開催する。

なお、この写真展では、鳥が住む自然環境を未来に残そうというメッセージを発信

するとともに、急増する野鳥撮影愛好者に向け、撮影マナーを普及する機会とする。

また、写真展開催に合わせてカレンダーの制作販売を行い、相乗効果を狙う。

- 2) 野鳥保護・普及啓蒙などの分野で、全国各地で活動し、日本野鳥の会活動に貢献いただいた会員等への表彰に向け、必要な準備を進める。
- 3) 長年にわたり、当会を支援いただいた法人会員(企業・団体等)を主な対象にしたイベントなど、各種取組みの企画・検討を進める。

(2) 探鳥会の運営支援

野鳥や自然とふれあう機会を提供するため、連携団体(支部等)が主催する探鳥会の広報や、探鳥会保険の加入・加入手続き代行などの支援を行う。

また、現場の探鳥会リーダーを対象に毎月1回のメール通信を発行し、探鳥会運営に関する、財団と探鳥会リーダー・連携団体(支部等)との情報交流を行う。

(3) 野鳥や自然への関心を高めるための教材制作及び普及活動

野鳥観察の機会提供や、野鳥を通して自然に関心をもってもらえるよう、「ミニミニ野鳥図鑑」の増刷や、それに続くツールの制作に努める。

また、これらツールの、全国の自然系施設での探鳥会や学校等での活用を目指すとともに、大規模イベント等での配布などを通じて、野鳥や自然への関心を高めるきっかけづくりを目指す。

(4) 野生動物との距離について考える機会の提供

人と野生動物の距離間について、あるべき姿を伝えていくため、「ヒナを拾わないでキャンペーン」に新規の活動を追加し、継続していく。

- 1) 前年度と同様、他団体と協力して、「ヒナを拾わず見守っていただきたい」とのメッセージを伝えるポスターを約 12 万枚制作(予定)し、行政、施設、学校などへ配布しながら、メッセージの趣旨普及を図る。
- 2) 2012 年度に「絵本 ぼくとりなんだ」「紙芝居 わたしのことり」を寄贈した施設、教育機関に対し、引続き、読み聞かせの実施やメッセージを広く子供たちに伝える活動を行っていただくよう、積極的に働きかける。
また、読み聞かせの場で活用いただけるよう、新たに小冊子を 2 万部制作する。
さらに、「野生動物と上手に付き合う心がけ」「拾ったヒナへの対応方法」等についてもこの小冊子に掲載し、ポスターと合わせて、多くの人にその趣旨を広めていく。
- 3) 「紙芝居 わたしのことり」を増刷し、メッセージを伝えられる場が増えるよう、普及活動を継続する。

(5) グリーン・ホリデーの実施

高校生以上の一般市民を対象に、体験を通じて当会の自然保護活動を理解していただくことを目的に、環境保全ボランティアプログラムを実施する(3回実施予定)。

開催は、根室管内の野鳥保護区、鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ(釧路管内)、鴨池観察館(加賀市)の計3か所で予定し、

- ・ タンチョウの冬季採餌環境の整備、
- ・ シマフクロウの生息環境を増やすための森林環境の管理、
- ・ ガンやカモの飛来する湿地の管理、

など、当会が特に保護に力を入れている種とその生息環境の保全活動に参画いただく。

また、リピーターには、3泊4日の実践編を案内し、ステップアップにつなげていく。

(6) 「いきものつながりアート展」の開催

平成 25 年 11 月に「いきものつながりアート展」(同展実行委員会との共催)を東京・大崎で開催し、異なる技法の 7 人のいきもの作家の作品展示を通じ、生物多様性のすばらしさを実感いただく機会を提供する。

(7) その他

バードウォッチングの普及の他、当会の活動を PR できるよう、各種イベントを企画、実施するとともに、講師派遣やマスコミ対応、大規模イベント等への出展などにも取り組んでいく。

2 野鳥保護の普及啓発のための広報・出版活動

野鳥保護や自然環境保全の普及啓発のために、印刷物の刊行や電子情報媒体の作成等の広報・出版活動を行う。

(1) 『野鳥』誌の発行

会員を対象に、野鳥に関する科学及び文化的知見の普及、投稿による参加、活動の報告等を行い、会への参加意識を高める。

(2) 『トリノ』の発行

広く一般を対象に、自然をテーマにしたビジュアルフリーマガジンを発行し、野鳥や自然を意識した豊かなライフスタイルを提案するとともに、当会支援者層の拡大を図る。

(3) ホームページの運営

野鳥や自然に関わる幅広い情報や当会の活動情報などを、ホームページやその他のデジタルメディアを通じて発信し、野鳥と親しむ楽しさを伝えるとともに、当会支援者層の拡大を図る。

(4) オリジナル書籍の刊行

野鳥図鑑をはじめ、当会の自然保護活動に関わるオリジナル書籍を出版し、野鳥や自然の魅力を普及する。

Ⅲ 直営施設の運営管理事業

1 当会独自のサンクチュアリ及び野鳥保護区の適切な運営管理

(1) ウトナイ湖及び鶴居・伊藤サンクチュアリの適切な利用・運営・管理

1) 適切な利用運営

ウトナイ湖サンクチュアリ及び鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリは、多くの会員等からの支援も得て当会が所有・管理する直営サンクチュアリである。

については、引続き、多くの会員・市民が野鳥や自然に触れ、学び、実感できる機会を提供できる施設として活用いただけるよう、その適切な運営・管理に努めていく。

2) ウトナイ湖における稀少種保護や勇払原野の保全活動

ウトナイ湖サンクチュアリが位置し、シマアオジやシマクイナなど、絶滅のおそれのある種も多く生息する勇払原野の保全に向け、これら稀少鳥類の生息状況を把握する調査を行い、その結果をメディアなどを通じて公表していく。

また、勇払原野の自然や保全活動に関する情報発信を強化するとともに、稀少鳥類の生息地としての重要性や保全の必要性について、市民に伝える普及教育活動を行う。

さらに、苫小牧東部開発(苫東)計画地域、とりわけ弁天沼周辺の保全に向けて、行政等への働きかけを積極的に行う。

(2) 野鳥保護区の設置と適正管理

1) 野鳥保護区での体験イベント

野鳥保護区において、地域の子供たちを対象に、自然観察会や植樹、ドングリの苗づくり等のイベントを開催し、体験を通じて野鳥保護区の自然の魅力や大切さを伝える。

2) 野鳥保護区の活動紹介、地域の企画・行事への参画

野鳥保護区の活動を伝え、地域の自然に触れ合う機会を提供するため、「ねむろバードランドフェスティバル」など、地域での企画行事等に協賛し、運営に参画する。

3) フレシマ野鳥保護区における風力発電対策

渡邊野鳥保護区フレシマの周辺地域で建設が計画されている風力発電施設建設計画に対して、

- ・計画地域でのワシ類等鳥類調査の実施と報告のとりまとめ、
- ・展示やイベント、
- ・学会発表、

など、必要な調査・普及啓発活動を行う。

また、調査結果をもとに、行政等への働きかけを行う。

2 野鳥保護区の適切な管理と稀少種の保護活動を通じた支援者拡大

野鳥保護区の適切な管理運営を行うとともに、シマフクロウ、タンチョウやカンムリウミスズメなど、野鳥保護区の主たる保全対象種であり、絶滅が危惧される稀少な鳥類の調査・保護活動について、積極的な発信を行い、寄付等の支援者を拡大させる。

(1) 野鳥保護区事業所を中心に、野鳥保護区の適切な管理運営を行い、保全対象種の保護に努める。

- (2) シマフクロウやタンチョウなど、絶滅が危惧される希少な鳥類に対する当会での保護活動状況等について、積極的な発信を行うとともに、寄付グッズの充実などを通じて、支援者の拡大や寄付金の増大を図る。

IV 受託施設の運営管理支援事業

1 地方公共団体等からの受託施設の管理運営

(1) 受託施設の適正な管理

都立東京港野鳥公園をはじめ、横浜市・豊田市・姫路市の3か所の自然観察の森及び鴨池観察館(加賀市)の適切な運営に引続き注力する。

これら地方自治体の自然保護の拠点施設にレンジャーを配置し、当会のもつノウハウを提供することで、地域の生きものの保全に貢献する。

地方自治体からの指定管理者もしくは受託事業者として、担当施設の周辺地域の保全にも影響力を行使できる諸活動に力を入れる。

上記5施設の運営支援活動に際して、当該自治体が許容する範囲で、当会の独自事業、自主事業も展開してゆく。

また、これらに加えて、神奈川県大和市の「しらかしのいえ」や「福島市小鳥の森」などの依頼にも応え、施設運営の助言や協力を行ってゆく。

さらに、受託施設の適切な管理運営を通じ、野鳥の魅力や地域の自然の大切さなどを伝えるとともに、地域の自然環境保全活動を推進する。

(2) 受託施設を拠点とした、地域の自然環境の保全活動

受託施設を拠点として、地域の自然環境の保全活動を推進する。

1) 自然観察会や自然講座の開催

全国の受託施設において、自然観察会や自然講座を開催する。

また、各施設において、展示物等を通じ地域の自然や野鳥の魅力を伝えていく。

2) 三宅島アカコッコ館でのバードアイランドフェスタ等

三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館において、「三宅島バードアイランドフェスティバル」や、開館 20 周年記念事業を実施し、エコツーリズムの推進等に資する。

3) 各受託施設における環境管理・モニタリング活動

全国各地の受託施設において、野鳥にとってより良い生息環境になるよう、環境管理やモニタリングなどの保全活動を行う。また、受託施設や周辺の自然環境も含め、地域の環境保全に向けた行政等への働きかけを図る。

2 他施設との連携

各地のネイチャーセンター等、他の関連施設との連携を強化し、相互に運営の向上等を図る。

(1) ネイチャーセンター等との連携

動物園や公民館、ネイチャーセンター等の他施設とのネットワークを活かし、情報

交換等を行い、相互に運営の向上を目指すとともに、スタッフのレベルアップを行う。

(2) ニュースレターの発行

ニュースレターを発行し、長年の施設運営を通じて得られた事例の紹介等を通じて、ネイチャーセンター等の施設運営の向上や、そこで働くスタッフのレベルアップに資する。

V 収益事業

上記 I ～IVの事業に資するため、収益を目的として以下の事業を行う。

1 物品販売活動

オリジナル商品を主軸に、野鳥、自然、野外活動をキーワードにした商品の企画、制作、販売を行い、当会が進める自然保護活動を支える資金を獲得する。

販売は、カタログやインターネットでの通信販売、法人や行政向け販売、連携団体(支部等)向け販売、店頭やイベントでの対面販売を展開する。

2 その他の収益活動

必要に応じ、物品販売活動以外の公益活動に資する収益活動を行う。

以上

平成25年度(第3期)収支予算書

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
1) 経常収益			
(1) 基本財産運用益	26	26	0
(2) 特定資産運用益	4,246	4,288	△ 42
(3) 受取入会金	770	600	170
(4) 受取会費	135,230	135,830	△ 600
(5) 受取寄付金			0
受取寄付金	105,340	102,121	3,219
受取寄附金振替額	83,909	47,597	36,312
(6) 事業収益			
自然保護事業収益	5,103	3,395	1,708
普及事業収益	17,230	21,473	△ 4,243
サンチュアリ事業収益	700	800	△ 100
受託事業収益	266,699	266,091	608
広告収益	24,450	25,950	△ 1,500
その他事業収益	0	0	0
物品販売事業収益	199,525	190,116	9,409
(7) 受取補助金等			
受取補助金	21,646	11,404	10,242
受取補助金振替額	0	0	0
(8) 雑収益	5,864	4,599	1,265
経常収益合計	870,738	814,290	56,448
2) 経常費用			
(1) 事業費			
役員報酬	9,524	9,810	△ 286
役員退任慰労費用	932	964	△ 32
報酬等	2,684	2,630	54
給料手当	248,092	238,804	9,288
退職給付費用	9,231	9,971	△ 740
福利厚生費	47,529	41,154	6,375
臨時雇用費	83,956	78,598	5,358
家賃等	19,950	19,740	210
水道光熱費	12,962	12,314	648
会議費	3,212	2,272	940
慶弔等交際費	2,302	1,476	826
通信運搬費	32,141	30,706	1,435
消耗什器備品費	3,118	6,363	△ 3,245
消耗品費	10,713	10,486	227
賃借料	18,240	9,152	9,088
印刷製本費	39,808	38,753	1,055
旅費交通費	46,609	35,968	10,641

平成25年度(第3期)収支予算書

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増減
諸謝金	19,057	12,214	6,843
原稿料	5,400	4,800	600
委託費	56,512	56,161	351
広報宣伝費	38,763	40,580	△ 1,817
保険料	3,828	2,838	990
租税公課	12,366	11,593	773
会員・支援者管理費	19,521	15,451	4,070
倉庫保管費	1,361	1,334	27
諸会費	706	584	122
研修費	1,804	1,197	607
支払利息	180	172	8
図書購入費	976	892	84
修繕保守料	13,341	12,674	667
手数料	1,973	2,101	△ 128
情報システム管理費	985	1,442	△ 457
ウェブサイト運営費	2,000	750	1,250
雑費	9,386	6,034	3,352
出版物制作費	5,806	7,296	△ 1,490
商品開発費	0	0	0
商品仕入費用	108,392	106,096	2,296
代引手数料	1,813	2,179	△ 366
カード手数料	1,968	2,142	△ 174
商品保管料	3,720	3,720	0
商品送料	5,000	2,922	2,078
減価償却費	22,686	18,508	4,178
事業費合計	928,547	862,841	65,706
(2)管理費			
役員報酬	4,036	3,270	766
役員退任慰労費用	400	320	80
報酬等	141	168	△ 27
給料手当	10,337	12,568	△ 2,231
退職給付費用	1,381	524	857
福利厚生費	2,077	2,255	△ 178
臨時雇用費	307	417	△ 110
家賃等	1,050	1,260	△ 210
水道光熱費	97	111	△ 14
会議費	45	43	2
通信運搬費	89	127	△ 38
消耗什器備品費	2	2	0
消耗品費	85	113	△ 28
賃借料	23	68	△ 45
旅費交通費	331	338	△ 7
委託費	40	45	△ 5
保険料	1	2	△ 1
租税公課	80	20	60

平成25年度(第3期)収支予算書

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増減
会員管理費	919	875	44
倉庫保管費	70	81	△ 11
諸会費	4	4	0
研修費	23	14	9
支払利息	10	12	△ 2
図書購入費	2	5	△ 3
修繕保守料	7	15	△ 8
手数料	38	47	△ 9
情報システム管理費	52	93	△ 41
雑費	59	93	△ 34
減価償却費	171	214	△ 43
管理費合計	21,877	23,104	△ 1,227
経常費用計	950,424	885,945	64,479
当期経常増減額	△ 79,686	△ 71,655	△ 8,031
2. 経常外増減の部			
1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 79,686	△ 71,655	△ 8,031
一般正味財産期首残高	1,192,501	1,172,840	19,661
一般正味財産期末残高	1,112,815	1,101,185	11,630
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受取寄付金			
受取寄付金	10,000	25,720	△ 15,720
(2) 一般正味財産への振替額	△ 83,909	△ 47,597	△ 36,312
当期指定正味財産増減額	△ 73,909	△ 21,877	△ 52,032
指定正味財産期首残高	985,717	1,070,334	△ 84,617
指定正味財産期末残高	911,808	1,048,457	△ 136,649
III 正味財産期末残高	2,024,623	2,149,642	△ 125,019

(注) 1. 短期借入金の限度額 1億円

平成25年度(第3期)収支予算書内訳表

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

(単位:千円)

科 目	公 益 事 業 会 計	収 益 事 業 等 会 計	法 人 会 計	合 計
	自然保護活動の 推進事業	物品販売事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
1) 経常収益				
(1) 基本財産運用益	26	0	0	26
(2) 特定資産運用益	4,234	6	6	4,246
(3) 受取入会金	616	0	154	770
(4) 受取会費	108,184	0	27,046	135,230
(5) 受取寄付金				
受取寄付金	105,340	0	0	105,340
受取寄附金振替額	83,909	0	0	83,909
(6) 事業収益				
自然保護事業収益	5,103	0	0	5,103
普及事業収益	17,230	0	0	17,230
サンクチュアリ事業収益	700	0	0	700
受託事業収益	266,699	0	0	266,699
広告収益	24,450	0	0	24,450
その他事業収益	0	0	0	0
物品販売事業収益	0	199,525	0	199,525
(7) 受取補助金等				
受取補助金	21,646	0	0	21,646
受取補助金振替額	0	0	0	0
(8) 雑収益	5,748	0	116	5,864
経常収益合計	643,885	199,531	27,322	870,738
2) 経常費用				
(1) 事業費				
役員報酬	8,152	1,372		9,524
役員退任慰労費用	799	133		932
報酬等	2,458	226		2,684
給料手当	230,002	18,090		248,092
退職給付費用	8,595	636		9,231
福利厚生費	43,962	3,567		47,529
臨時雇用費	73,442	10,514		83,956
家賃等	18,270	1,680		19,950
水道光熱費	12,806	156		12,962
会議費	3,048	164		3,212
慶弔等交際費	2,115	187		2,302
通信運搬費	30,473	1,668		32,141
消耗什器備品費	2,883	235		3,118
消耗品費	10,106	607		10,713
賃借料	18,064	176		18,240
印刷製本費	39,808	0		39,808
旅費交通費	44,632	1,977		46,609

平成25年度(第3期)収支予算書内訳表

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

(単位:千円)

科 目	公 益 事 業 会 計	収 益 事 業 等 会 計	法 人 会 計	合 計
	自然保護活動の 推進事業	物品販売事業		
謝金	18,613	444		19,057
原稿料	5,400	0		5,400
委託費	56,449	63		56,512
広報宣伝費	19,469	19,294		38,763
保険料	3,669	159		3,828
租税公課	7,716	4,650		12,366
会員・支援者管理費	16,127	3,394		19,521
倉庫保管費	1,249	112		1,361
諸会費	701	5		706
研修費	1,672	132		1,804
支払利息	165	15		180
図書購入費	965	11		976
修繕保守料	13,280	61		13,341
手数料	1,736	237		1,973
情報システム管理費	902	83		985
ウェブサイト運営費	2,000	0		2,000
雑費	9,254	132		9,386
出版物制作費	5,806	0		5,806
商品開発費	0	0		0
商品仕入費用	0	108,392		108,392
代引手数料	121	1,692		1,813
カード手数料	132	1,836		1,968
商品保管料	249	3,471		3,720
商品送料	335	4,665		5,000
減価償却費	18,269	239		22,686
事業費合計	733,894	190,475	0	928,547
(2)管理費				
役員報酬			4,036	4,036
役員退任慰労費用			400	400
報酬等			141	141
給料手当			10,337	10,337
退職給付費用			1,381	1,381
福利厚生費			2,077	2,077
臨時雇用費			307	307
家賃等			1,050	1,050
水道光熱費			97	97
会議費			45	45
通信運搬費			89	89
消耗什器備品費			2	2
消耗品費			85	85
賃借料			23	23
旅費交通費			331	331
委託費			40	40
保険料			1	1
租税公課			80	80

平成25年度(第3期)収支予算書内訳表

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

(単位:千円)

科 目	公益事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
	自然保護活動の 推進事業	物品販売事業		
会員管理費			919	919
倉庫保管費			70	70
諸会費			4	4
研修費			23	23
支払利息			10	10
図書費			2	2
修繕保守料			7	7
手数料			38	38
情報システム管理費			52	52
雑費			59	59
減価償却費			171	171
管理費合計	0	0	21,877	21,877
経常費用計	733,894	190,475	21,877	950,424
当期経常増減額	△90,009	9,056	5,445	△79,686
2. 経常外増減の部				
1) 経常外収益				
	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
2) 経常外費用				
	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 90,009	9,056	5,445	△ 79,686
一般正味財産期首残高				1,192,501
一般正味財産期末残高				1,112,815
II 指定正味財産増減の部				
(1) 受取寄付金				
受取寄付金	10,000			10,000
(2) 一般正味財産への振替額	△ 83,909			△ 83,909
当期指定正味財産増減額	△ 73,909	0	0	△ 73,909
指定正味財産期首残高				985,717
指定正味財産期末残高				911,808
III 正味財産期末残高				2,024,623

平成25年度収支予算書 明細

自 平成25年4月 1日
至 平成26年3月31日

(単位:千円)

科目	平成25年度 予算合計	公益事業会計							収益事業等 会計	公益 + 収益	法人会計	備考
		自然保護事業	普及事業	サンチュアリ事業	受託事業	その他事業	公益共通	公益合計				
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
1) 経常収益												
(1) 基本財産運用益	26	0	0	0	0	0	26	26	0	0		
(2) 特定資産運用益	4,246	3,844	0	292	0	0	98	4,234	6	6		財政安定、退職給付資産のみ従事割合
(3) 受取入会金	770	0	0	0	0	0	480	616	0	154		公益会計80% 法人会計20%
(4) 受取会費	135,230	0	0	0	0	0	108,184	108,184	0	27,046		同上
(5) 受取寄付金												
① 受取寄付金	105,340	2,170	920	7,770	0	0	94,480	105,340	0	0		
② 指定正味財産からの振替額	83,909	83,902	0	7	0	0	0	83,909	0	0		持田PJ、藤田基金、野鳥保護区基金の取崩額及び渡邊購入寄付の一部
(6) 事業収益								0				
① 自然保護事業収益	5,103	5,103	0	0	0	0	0	5,103	0	0		
② 普及事業収益	17,230	0	17,230	0	0	0	0	17,230	0	0		
③ サンチュアリ事業収益	700	0	0	700	0	0	0	700	0	0		
④ 受託事業収益	266,699	0	0	0	266,699	0	0	266,699	0	0		
⑤ 広告収益	24,450	0	24,450	0	0	0	0	24,450	0	0		
⑥ その他事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
⑦ 物品販売事業収益	199,525	0	0	0	0	0	0	0	199,525	0		
(7) 受取補助金等												
① 受取補助金	21,646	19,646	2,000	0	0	0	0	21,646	0	0		
② 指定正味財産からの振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		年度をまたぐ事業への助成金
(8) 雑収益	5,864	2,639	24	3,085	0	0	0	5,748	0	116		
経常収益合計	870,738	117,304	44,624	11,854	266,699	0	203,268	643,749	199,531	27,322		
2) 経常費用												
(1) 事業費												
役員報酬	9,524	2,038	2,038	2,038	2,038	0	0	8,152	1,372	9,524		※管理費の配賦明細は別紙参照
役員退任慰労費用	932	200	200	200	199	0	0	799	133	932		
報酬等	2,684	452	706	113	1,187	0	0	2,458	226	2,684		顧問弁護士、会計士、税理士報酬
給料手当	248,092	41,349	67,192	10,337	111,124	0	0	230,002	18,090	248,092		
退職給付費用	9,231	1,485	2,653	319	4,138	0	0	8,595	636	9,231		退職金掛金+退職給付引当金当期計上額
福利厚生費	47,529	7,938	12,803	1,984	21,237	0	0	43,962	3,567	47,529		社会保険料等
臨時雇用費	83,956	9,710	18,644	3,665	41,423	0	0	73,442	10,514	83,956		パート、アルバイト給与及び通勤手当
家賃等	19,950	3,360	5,250	840	8,820	0	0	18,270	1,680	19,950		
水道光熱費	12,962	1,065	2,115	1,409	8,217	0	0	12,806	156	12,962		
会議費	3,212	827	867	61	763	530	0	3,048	164	3,212		
慶弔等交際費	2,302	468	1,338	90	219	0	0	2,115	187	2,302		

平成25年度収支予算書 明細

自 平成25年4月 1日
至 平成26年3月31日

(単位:千円)

科目	平成25年度 予算合計	公益事業会計						収益事業等 会計	公益 + 収益	法人会計	備考	
		自然保護事業	普及事業	サンクチュアリ事業	受託事業	その他事業	公益共通					公益合計
通信運搬費	32,141	1,897	23,756	1,255	3,085	480	30,473	1,668	32,141			
消耗什器備品費	3,118	798	124	81	1,880	0	2,883	235	3,118		10万円未満の耐用年数1年以上の備品	
消耗品費	10,713	2,170	1,762	622	5,552	0	10,106	607	10,713			
賃借料	18,240	14,712	400	411	2,541	0	18,064	176	18,240		パソコン等賃借料	
印刷製本費	39,808	1,550	31,539	534	6,185	0	39,808	0	39,808		野鳥誌、トリーノ他印刷製本費	
旅費交通費	46,609	24,696	5,028	1,995	11,588	1,325	44,632	1,977	46,609			
謝金	19,057	8,020	3,602	83	6,808	100	18,613	444	19,057		講師謝金、調査謝金等	
原稿料	5,400	0	5,400	0	0	0	5,400	0	5,400		野鳥誌、トリーノ原稿料	
委託費	56,512	10,842	19,914	162	25,531	0	56,449	63	56,512		指定管理施設管理に関する委託費他	
広報宣伝費	38,763	2,600	16,849	0	20	0	19,469	19,294	38,763		支援者拡大、販売促進の広報費	
保険料	3,828	874	1,707	372	716	0	3,669	159	3,828		施設賠償、公用車保険等	
租税公課	12,366	378	1,005	82	6,251	0	7,716	4,650	12,366		納付消費税他	
会員・支援者管理費	19,521	2,940	4,733	736	7,718	0	16,127	3,394	19,521		会員管理、物販顧客管理にかかる費用	
倉庫保管費	1,361	224	380	56	589	0	1,249	112	1,361			
諸会費	706	376	210	55	60	0	701	5	706			
研修費	1,804	250	473	70	879	0	1,672	132	1,804			
支払利息	180	30	48	8	79	0	165	15	180		短期借入金利息	
図書費	976	294	281	1	389	0	965	11	976			
修繕保守料	13,341	750	5,459	838	6,233	0	13,280	61	13,341			
手数料	1,973	288	850	60	538	0	1,736	237	1,973		振込手数料	
情報システム管理費	985	166	259	41	436	0	902	83	985			
ウェブサイト運営費	2,000	0	2,000	0	0	0	2,000	0	2,000		ホームページ開発・更新費用	
雑費	9,386	4,657	1,061	819	2,717	0	9,254	132	9,386			
出版物制作費	5,806	0	5,806	0	0	0	5,806	0	5,806		オリジナル出版物売上原価(印刷費)	
商品開発費	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
商品仕入費用	108,392	0	0	0	0	0	0	108,392	108,392		商品売上原価	
代引手数料	1,813	0	121	0	0	0	121	1,692	1,813		商品代金収納手数料	
カード手数料	1,968	0	132	0	0	0	132	1,836	1,968		同上	
商品保管料	3,720	0	249	0	0	0	249	3,471	3,720			
商品送料	5,000	0	335	0	0	0	335	4,665	5,000			
減価償却費	22,686	9,718	7,505	2,125	2,348	0	21,696	990	22,686			
事業費合計	928,547	157,122	254,794	31,462	291,508	2,435	0	737,321	191,226	928,547	0	

平成25年度収支予算書 明細

自 平成25年4月 1日
至 平成26年3月31日

(単位:千円)

科目	平成25年度 予算合計	公益事業会計						収益事業等 会計	公益 + 収益	法人会計	備 考
		自然保護事業	普及事業	サンクチュアリ事業	受託事業	その他事業	公益共通				
(2)管理費											
役員報酬	4,036									4,036	
役員退任慰労費用	400									400	
報酬等	141									141	
給料手当	10,337									10,337	
退職給付費用	1,381									1,381	退職金掛金+退職給付引当金計上額
福利厚生費	2,077									2,077	
臨時雇用費	307									307	
家賃等	1,050									1,050	
水道光熱費	97									97	
会議費	45									45	
通信運搬費	89									89	
消耗備品費	2									2	
消耗品費	85									85	
賃借料	23									23	
旅費交通費	331									331	
委託費	40									40	
保険料	1									1	
租税公課	80									80	
会員管理費	919									919	
倉庫保管費	70									70	
諸会費	4									4	
研修費	23									23	
支払利息	10									10	
図書費	2									2	
修繕保守料	7									7	
手数料	38									38	
情報システム管理費	52									52	
雑費	59									59	
減価償却費	171									171	
管理費合計	21,877									21,877	
経常費用計	950,424	157,122	254,794	31,462	291,508	2,435	0	737,321	191,226	21,877	
当期経常増減額	△79,686	△39,818	△210,170	△19,608	△24,809	△2,435	203,268	△93,572	8,305	5,445	

平成25年度資金収支予算「特定資産(預金のみ)の増減」明細-(投資活動収支の部)

(単位:円)

	名称	H25年度 期首額見込み	H25年度中の増減		H25年度 期末見込み額	特定預金の目的等
			積立額 (取得支出)	取崩し額 (取崩収入)		
野鳥保護区事業のための特定預金	1 渡邊基金	16,502,145	1,000,000	13,116,000	4,386,145	鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ運営の一環である渡邊野鳥保護区管理費の一部に充当する
	2 村田基金	20,033,337	5,000	0	20,038,337	野鳥保護区購入費等に充当する
	3 持田プロジェクト	748,841,953	0	107,196,000	641,645,953	シマフクロウの保護区購入費等に充当する
	4 藤田基金	68,384,000	0	5,407,000	62,977,000	鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ運営の一環である野鳥保護区購入・管理費・その他同サンク運営費の一部に充当する
	5 タンチョウサンクチュアリ基金	89,385,572	0	0	89,385,572	鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ運営費の一部に充当する
	6 野鳥保護区基金	34,594,934	10,000,000	7,277,000	37,317,934	野鳥保護区購入費等に充当する
	7 W氏基金	3,535,000	0	77,000	3,458,000	野鳥保護区購入費等に充当する
	8 三菱UFJ信託基金	0	0	0	0	野鳥保護区の購入及び管理費等に充当する
	小計	981,276,941	11,005,000	133,073,000	859,208,941	
その他の事業のための特定預金	9 パートソン93	5,330,966	1,000	1,826,000	3,505,966	出水のツル越冬地分散化事業費に充当する
	10 持田基金	140,000,000	0	0	140,000,000	持田勝郎氏からのご寄付を基金として、財政基盤を確立する
	11 野鳥を科学する基金	34,850,563	0	6,276,000	28,574,563	独自の研究活動費を確保する
	12 ウトナイ湖サンクチュアリ運営基金	27,484,732	0	3,020,000	24,464,732	ウトナイ湖サンクチュアリ運営費の一部に充当する
	13 鳥と緑の日野センター修繕積立金	1,075,000	500,000	800,000	775,000	鳥と緑の国際センターの修繕費用に充当する
	14 ウトナイ湖サンクチュアリネイチャーセンター修繕積立金	6,501,150	0	0	6,501,150	ウトナイ湖サンクチュアリの修繕費用に充当する
	15 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリネイチャーセンター修繕積立金	6,249,415	0	3,350,000	2,899,415	鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリの修繕費用に充当する
	16 70周年記念碑	1,990,769	0	202,000	1,788,769	70周年記念碑を維持・管理・活用するための費用に充当する
	17 椿原基金	4,444,600	0	200,000	4,244,600	ウトナイ湖サンクチュアリ運営費の一部に充当する
	18 錦木基金	4,179,223	0	4,179,000	223	カムリウミスズメ保護事業費、及び三宅島事業所の運営費の一部に充当する
	19 赤羽基金	10,500,000	0	2,669,000	7,831,000	カムリウミスズメ保護事業費、及び三宅島事業所の運営費の一部に充当する
	20 杉本基金	50,000,000	0	0	50,000,000	野鳥保護事業費等に充当する
	21 F氏カムリ基金	30,724,937	0	15,913,000	14,811,937	カムリウミスズメ保護事業費に充当する
22 手島基金	2,909,000	0	2,909,000	0	アカコッコ保護事業費に充当する	
小計	326,240,355	501,000	41,344,000	285,397,355		
その他の特定預金	23 財政安定基金	60,080,000	0	10,000,000	50,080,000	財政安定上の必要を生じるときに備える
	24 役員退任慰労引当資産積立金	2,724,000	1,332,000	0	4,056,000	常勤役員退任慰労金の支出に充当する
	25 退職給付引当資産積立金	31,928,534	1,000,000	0	32,928,534	退職給付引当金に対応する引当資産として確保する
	小計	94,732,534	2,332,000	10,000,000	87,064,534	
合計	1,402,249,830	13,838,000	184,417,000	1,231,670,830		